「北国新聞」文芸関係記事年表稿（昭和篇4）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 森, 英一 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/7350

『北国新聞』文芸関係記事年表稿（昭和篇④）

森　英一

昭和十五年

1　詩「漁村迎春」島田青峰
1　「戦争と文学」近松秋江
〃　「東西古今の龍」望月勝海
〃　「新春の歌」（☆5首）吉井勇
〃　「物語・北国建国史（ああ七尾城）」亀岡和喜子
〃　「北国百人一首」（☆選者、江戸才子・大丸秀穂・楠田敏郎・青山兵吉）
〃　「北国百人一句」（☆選者、大河寥々・桂井未翁）
〃　「謎のソ連の姿」久我豊雄
〃　「勅題を拝して」（☆俳句6句）槙野召果
〃　「戦ふ時代」（☆短歌5首）谷野富有夫
〃　「無欲の書」赤松義磨
〃　「祝鼓鼕々」（☆俳句8句）桂井未翁
〃　「皇紀二千六百年」（☆短歌5首）犬丸秀穂
〃　「聖戦四年の春」（☆短歌4首）綱村流水
〃　「迎年祈世」（☆歌謡）うたのかみ
〃　「迎年祈世」（☆短歌3首）渡辺とよ子
2　「新日本音楽とその動向」佐々木宣男
〃　「文教を思ふ」中川善之助
〃　「生活改善の方策」犬丸秀穂
〃　詩「新しい雲」宮崎孝政
〃　「年立つ」（☆短歌3首）石樽千亦
〃　「初日の出」うたのかみ
〃　「映画の話」高島次吉
〃　北国歌壇の新選者・楠田敏郎（記事）
〃　「迎皇紀二千六百年・短歌一首」米山久子
〃　「二千六百年貫いた風俗」今和次郎
4　「建国史の教ふるもの」林屋新一郎　5日完
5　「祝紀元二千六百年」（☆短歌6首）越野黙歩
〃　「京都御所を拝す」（☆短歌9首）江戸才子
6　「建設工作の一断面」山田千之
8　「帰還者の声」黒田義男　9日完
9　「山川三河守と宗祇法師」館残翁　18日　3回完
〃　「新世紀と認識」舟野栄
〃　「歌曲の話」渥見清太郎　20日　3回完
〃　「弓に親しむ」（☆短歌9首）青山兵吉
10　「日本の進むべき道」諏訪青山

11　「自我の成長」新島亮
〃　「新浪曼主義文学に対する感想と要望」上林暁
〃　「批評について」松木善兵衛
〃　「龍」上野山清貢
12　「生活の反省と再建」小室賢次
14　「明治初年の年末年始」大石直江　19日　4回完
17　「一つの芽」佐々木なる子
18　「強力とは何ぞ」暁烏敏
24　「季節感傷」片岡鉄兵
〃　「茶わん」森豊一
〃　「随筆について」梅川一郎
〃　「左義長」小寺信重
27　「橋」高橋勇
〃　「初心者への歌の手びき」江戸才子　2月22日　5回完
2
1　「米内首相」葉椰子
〃　落語「忠臣蔵」入船亭扇橋　3日　2回完
2　「コスキダ」葉椰子　5日完
6　講談「大刀辰蔵」悟道軒円玉　7日完
〃　「ルソー」葉椰子
7　「茶盌」大石直江　9日　3回完
〃　「高志人」葉椰子
9　「馬」葉椰子
〃　小説「酒害をめぐって」久生十蘭　14日　5回完
13　「橿原の読方について」暁烏敏
14　「ステッキ」葉椰子
〃　「雪女」木谷与作　15日完
15　「沢田牛磨氏」葉椰子
〃　小説「簫の音」小林信二　22日　7回完
16　「三たび草山に入る」大石直江
〃　「日本美術論」由田秀夫
〃　「陶片集」森一正
〃　「功利の精神」外村繁
17　「煙草」葉椰子
18　「葡萄」葉椰子
20　「上方の女性」大石直江　22日　3回完
〃　漫談「酒と歌」笠間互楽
21　「満州建国読本」葉椰子
22　「都市の野心」葉椰子
〃　「健康第一主義」吉屋信子
23　「高木友三郎博士」葉椰子
〃　童話「雪だるまのひろいもの」望月芳郎　24日完
24　「蘆水女史」葉椰子
25　小説「間抜け男の話」尾崎一雄　29日　4回完
27　「秦淮の画舫」大石直江
〃　「古九谷談片」酒井達郎
〃　「家庭と女中難」中里恒子
28　「台湾の庭園」大石直江
〃　「読書について」秋山英夫
〃　「尊経閣文庫文献書目」犬丸秀雄
〃　「読書について」梅川一郎
〃　「日本資本主義史上の指導者たち」瀬野政夫
3
1　「林檎」大島遅人　2日完
〃　「春告げる椿」安沢潮花　3日　2回完
2　「政治家と書物」葉椰子
〃　童話「失くなった卵」神戸雄一　3回完
〃　北国歌壇・堅香子歌会

3　「友情」葉椰子
〃　「弓道」木村勉　6日　3回完
5　「骨董的乗り物」葉椰子
6　「残雪」葉椰子
〃　「情緒への憧れ」黒田義男　7回完
〃　暁烏敏講演（記事）
7　「高島米峰氏」葉椰子
〃　「身辺愚話」今島廉蔵　9日　3回完
8　「花」葉椰子
〃　「春旅抄」八田与四松　9日完
9　「総督の書」葉椰子
〃　「家庭における無駄」深尾須磨子
10　「山」葉椰子
〃　「酒」高橋勇　12日　2回完
〃　「煙草と兵隊」富田寛
〃　「劇評・花形歌舞伎」夢翁生
12　「大塊老」葉椰子
13　「スキー」葉椰子
〃　「御所詞となぞ〳〵」うたのかみ生　16日　4回完
〃　小説「土と影」山中峰太郎　17日　4回完
15　「書心」葉椰子
〃　「桃太郎侍」山手樹一郎
16　「寄席」葉椰子
〃　「やがて日本を背負ふべき彼、彼女のために」村岡花子
17　「イワシといふ字」広岡理創　19日　2回完
19　「雪わり草」葉椰子
20　「文化とスカート」田辺孝次
〃　「戦争と俳句」栗林一石路　23日　2回完
〃　「石川富山の俳壇展望」中西舗一・古川杏水
〃　「兼六園」（☆俳句5句）三芳庵別業
〃　「春隣り」（☆俳句5句）押野秋壺城
〃　「雪譜」（☆俳句5句）浜出鉄沙
23　「釣り」葉椰子
〃　「死んだり生きたり」ミヤモトサイキ　24日完
24　童話「ターちゃんと小包」みづたに・よよし
27　「趣味戦」谷村一溪
〃　「仇名の種々相」うたのかみ生　5月17日　31回完
29　「茶人大森杖信」宮下藤雄　31日　4回完

4

3　「茶盌後日譚」大石直江
〃　「春宵にもの思ふ」細田源吉
〃　「農民文学への期待」橋本英吉
5　「釣り」山本外三郎　6日完
7　「大帝康熙」松村太二郎
9　「『雪わり草』に」翁久允
〃　「美人の要素」大石直江　11日　3回完
11　「あし屋日記」葉椰子
12　「大淀三千風」玉井敬泉　14日　3回完
13　「言葉」岡田禎子
16　「如春翁に聞いた話」鏑木勢岐　17日完
〃　「茶事記」越沢完見
18　「能登」葉椰子
19　「帰苔の跡を追ふて」太田南圃　21日完
20　「金僊画伯」葉椰子
23　「おわん」新村撰吉　24日完
24　「伝統談義」後藤与善　5月3日　5回完
25　「松露」葉椰子

〃　「多産の弁」角谷義一　27日完
〃　「これが世の中」小山いと子
26　「人物と抱擁力」大石直江
28　「獲物の味覚」山本貞子　5月2日　3回完
5
3　「松礼讃」松本松太郎
4　「奥野他見男氏」葉椰子
〃　「浪花節漫語」新田潤
5　「書物の効用」日野草蔵　8日　3回完
9　「ある友人の話」松任参雄　10日完
11　「河豚」葉椰子
〃　「文化と生活」荒谷余十勝
〃　「きたならしさ」岡田禎子
12　「金の鳩」小松砂丘　15日　2回完
〃　「春の海」百瀬文雄　15日　2回完
16　「都会の一隅から」若山喜志子
17　童話「軍人さんと猫」をの、まさかた　23日　6回完
19　「文七焼」大石直江
21　「ツンドクの弁」中村文彦　23日　3回完
22　「宝達山」葉椰子
〃　「晩春の情熱」八田博一　24日　3回完
〃　「文字の悪戯を歇めよ」武藤貞一
23　「盛り場風景」田村泰次郎　29日　4回完
24　「扇子」宮本百合子
〃　「獨逸の碁と小さい友だち」松本和夫　25日完
25　「金沢と熊本」葉椰子
〃　「吉野の渡し守」添田さつき　28日　3回完
26　「詩人教授と日本と」平田禿木　29日　3回完
〃　「飲食器具とその語源」諏訪青山　5月3日　4回完
〃　「性格の不一致について」塩泉永子
29　「石川県美術展の意義」田辺孝次
〃　「窯を焚きつつ」森一正
30　「人形」打尾忠治　31日完
〃　「スパイ物語・金髪美人と海軍士官」（無署名）　6月5日　4回完
6
1　「需給の調節」帆足みゆき
〃　「渡辺勘兵衛」殿田良作
2　「季節の男女」丸岡明　6日　4回完
〃　「金沢寸感」竹田緑風　4日　2回完
5　「煙出し漫談」仲島忠次郎　8日　4回完
7　「このごろ日記」丸山薫　12日　5回完
〃　「スクラップを作りながら」大成功三　9日　3回完
〃　「細川候家の名宝」越沢完見　9日　3回完
〃　「感情に潤ひを」若山喜志子
11　「庭園」葉椰子
〃　「緑の窓にて」大田洋子　14日　4回完
〃　「醤油騒動」岩田秀雄　13日　3回完
12　「石川県美術協会と金城画壇」玉井敬泉
13　「新劇のいま」田中千禾夫　19日　6回完
14　「俗謡による趣味的語源」諏訪青山　21日　7回完
〃　「しつけ」伊福部敬子
15　「初夏雑記」青野季吉　19日　4回完
〃　小説「もっとよいこと」別院一郎　19日　4回完
20　「一つの命」宮本百合子
〃　「六月の感情」徳永直　23日　4回完
21　「汽車に乗つて」若山喜志子
〃　「雅号の事」流月生

〃　「互に謙虚な心で精神一路を念願」犬丸秀穂
〃　北国短歌会結成（記事、☆顧問・尾山篤二郎、犬丸秀穂他）
〃　「北国歌人に贈る言葉」楠田敏郎
〃　「国民情操の培養へ」青山兵吉
〃　「短歌報国を念願」越野黙歩
〃　「明日に飛躍して明日に期待せよ」藻谷銀河
〃　「ひたぶるの精進を」岩佐健
〃　「全女性が参加されてこの道の魂の研鑽へ」江戸さい子
〃　「事変を転機に歌道の進展を」綱村流水
〃　「銃後戦線」（☆短歌10首）藻谷銀河
22　「金沢の今昔」流月生
〃　「映画と学生」宇川良　7月2日　9回完
23　「近頃の断想」柳原燁子　25日　2回完
25　「消防慰労会」流月生
26　「金山秘譜」小松砂丘　27日完
〃　「武蔵野の水」那須辰造　7月10日　7日完
〃　「小無子と梅の橋と」流月生
〃　「日本の母」山岡荘八　16年3月12日　232回完
28　「石川県美術展と工芸奨励会の立場」高橋勇
30　「俄かづくりの都会人」石上玄一郎　7月3日　5日完
7
1　童話「町の中の一本樹」水谷まさる
（この日より「北国毎日新聞」と改名）
2　「泥棒」流月生
3　「石川県美術界への公開状」長谷川八十　17日　2回完
4　「失敗した芸能祭」石田繁　10日　3回完
〃　「言葉の問題」佐竹俊男　6日　3回完
7　「未亡人の同情」小田周洋
〃　小説「鎌倉物語」小笠原啓介　9日　2回完
9　「映画の秘密」樽崎勤　17日　6回完
10　小説「氷室」杉原竹女　11日完
12　「年令と不安」今井達夫
〃　「戦争は何を求めたか」平井恒子
14　「金沢の印象」三崎重雄　16日　2回完
〃　「梅雨季」丸山義二　19日　5回完
16　「五九郎を思ふ」流月生
17　「無題」尾山篤二郎
18　「魚供養」上泉秀信　25日　4回完
〃　「六華会」流月生
19　「市民の訓練」宮本百合子
20　「初旅」中村草田男　23日　4回完
〃　「墓」荒谷余十勝　21日完
23　「二松老人の話」砂丘人　24日完
25　「お国自慢」永井柳太郎　27日　3回完
26　「鮎釣り風景」中村星湖　8月7日　5回完
27　「読書について」村岡花子
28　「劇団閑話」寺島五十五　8月8日　7回完
31　「釣漫談」松田盛一　8月3日　4回完
8
2　「清遊地を与へよ」石島菊枝
3　「編上げ靴」流月生（☆この一年ほど窪田流月の文章多し）
〃　「蓮の華と日本人」大槻憲二　9日　5回完
4　「北京を想ふ」黒田義男　8日　4回完
9　「へくら島」任田秀雄　10日完
〃　「演劇随想」中村楠雄　11日　2回完
11　「亡き両親の訓言」和田翠葉　15日　4回完
13　「炎天録」細田源吉　17日　4回完
14　「わが夏季講習会」暁烏敏

16「非常時下の風俗」西村朝栄　24日　4回完
17「婦人の特性」植木忠夫　18日完
19「時局雑感」暁烏敏　22日　2回完
21「盛夏妄想」今島廉蔵　22日完
22「ラジオ盗聴」岡田三郎　30日　6回完
23「家庭中心論」桑野信子
〃「涸沢小屋の一日」天野時次郎　25日　3回完
25　アメリカ映画とアメリカ（記事）
27「俳句縦横談」西野九逸　29日　3回完
28「婦人と科学」宮本百合子
〃「眼」山村幸一　31日　3回完
30「緑陰夏窓」酒井達郎　9月5日　5回完
31「机中落葉拾個集」杉田正
9
1「仏大寺観音堂拝記」中江文彦　8日　7回完
3「信濃から上州へ」大坪円魚洞　10日　10回完
4「葯房雑記」米田稲介　14日　8回完
5「長男応召」若山喜志子
7「蘆水女史」辻豊二　22日　9回完
10「墨色の妙味」山脇雄吉　19日　3回完
12「オイコラ談義」堀岡政義　14日　3回完
13「鏡花先生と色紙」岡咄眼
15「牧水の歌」西本喜久男　17日　2回完
〃「初秋の記」方等みゆき　22日　7回完
20「李花洞隠想」三輪国治　10月10日　14回完
21「時感三景」岡島義雄　25日　3回完
〃「薬値不統一」真杉静枝
25「佐渡の一日」安川太門　28日完
〃　小説「虚ろ雨」榊よね子　10月4日　7回完
26「足と行軍」折守一　10月2日　4回完
〃「若さの尊」若山喜志子
〃「〃小島の春〃その他・映画のリアリズムに就て」太田義久
29日　4回完
28　詩「東洋の秋に立ちて」高島高
10
2「東京の陋屋」大石直江　5日　4回完
〃「亀岡庭園記」三宅木仙　11日　6回完
3「家賃」宮本百合子
〃「新京雑記」窪木伸三郎　8日　5回完
4「精巧極る紫禁城」村上辰午郎
5「竹村屋平吉の事」増山安太郎　6日完
6「人間修業の工夫」今井秀一　8日　2回完
9「金沢から見える山」天野時次郎　11日　3回完
〃「映画雑筆」八木喜一　10日完
〃「歌集『転生』」多賀一樓
11「宗良親王の御事蹟」鳥尾正一　20日　7日完
〃「途上雑記」関沢源治　17日　5回完
12「学校園」坂本其水　13回完
15「日本民謡の翻訳」佐竹俊男　26日　8日完
〃「歌集『転生』を読む」木津螢雪　20日　3回完
20「京秋雑感」古谷雲歩　21日完
22「秋想記」宮田三千秋　11月2日　10日完
23「市井の実相」大石直江　24日完
〃「芸術書と揮毫」諏訪青山　31日　9日完
〃「私の感想」窪川稲子
〃「追悼の花たば―故喜多浩平氏をしのぶ―」太田義久
日　4回完
25「浅間神社」大石直江　31日　6回完

30　「釣ある記」加藤清　31日完
11
2　「漁村曙に因み万葉集を読む」　5日　4回完
〃　「友情」市原綾子　6日　5回完
3　「人間派に就て」河崎恒夫　6日　3回完
〃　「応召の友に寄す」駒谷剣嶺　8日　5回完
6　「グレーム先生」手代木文　15日　6回完
8　「翼賛運動と国語」浦上三之亟　12日　2回完
〃　「まぼろし剣法」下村悦夫　202回完
10　「日の丸の旗」宮田三千秋　13日　2回完
13　「蒙古斑の弁」池本五月　14日完
〃　「歌人加藤里路翁」東新治　28日　9回完
15　「白米の問題」早尾乕雄　16日完
〃　「秋郊隨筆」兼常清佐
〃　「女性の本領に生きよ」今井秀一　16日完
16　「映画の感激性」八木喜一　19日　3回完
17　童話「空地を行く」水谷まさる　23日　2回完
19　「蔦」広瀬先一　21日　3回完
21　「数論と高木貞治先生」滝沢周雄　26日　3回完
22　「稀有元素雑話」木羽敏泰　29日　5回完
〃　「『荒栲』を読みて―短歌の進むべき道」太田義久　23日完
23　「支那の小説」一戸務　12月1日　6回完
〃　「世がはり帳」木村荘十　157回完
26　「海南の疾風」木林清
27　「わが汽車の旅」望月勝海　28日完
28　「汽車弁に地方色」真杉静枝
29　「国旗の感激」泉仙助　12月3日　4回完
〃　「薄命の詩人-相川俊孝君を悼む」慎久雄　12月1日　3回完
〃　安口片之助歌碑祭（記事）

12
1　「逆の味―常民文化の残存に就て」長岡博男　4日　3回完
3　「ある母」若山喜志子
〃　「自己革新―文学の変貌期」亀井勝一郎　4日完
4　「東京の人」山本与吉　6日　3回完
5　「初冬身辺」木俣修
〃　「『住』の新体制」榊原助太郎　7日　3回完
〃　「科学と文学」植原路郎　7日　3回完
6　「冬爐俳談議」山口花笠　15日　9回完
7　「ロダンの百年」片山敏彦　14日　3回完
〃　「歴史を作るもの」荒谷余十勝　12日　5回完
〃　「落葉日記」塚原真月　8日完
8　「共栄圏確と教育」寺本友次郎　10日　2回完
12　「北満紀行抄」豊田三郎　14日　3回完
14　「鵜川の原始神社」加藤祐策　27日　8回完
15　「台湾の生果」大石直江　19日　4回完
〃　「生きる旗」井家通　17日　2回完
〃　「越中の蠶神」織田重慶　17日　2回完
〃　「初冬隨筆」塚原真月　17日　2回完
18　「今年の小説」田畑修一郎
22　「新体制下の文化と文学」青柳優
〃　「吉田松陰を思ふ」瀬川重礼　27日　4回完
24　「古都をたづねて」新居格　28日　4回完
〃　「改井徳寛個展評」佐賀乃大守
28　「山の一夜」米山清一郎

昭和十六年

1
1　「北国百人一首」（☆選者、江戸さい子・青山兵吉・藻谷銀河）

〃　「北国百人一句」（☆選者、小松砂丘・大河寥々・山口花笠）
〃　「山の詩情」長浦尚利
〃　小説「春も新体制」伊馬鵜平
〃　俳句「翼賛の春」山本梅童
2　「一題一句」漁村曙
〃　「私の感想・民のこゝろ」宮本百合子
〃　短歌「東の柱」谷野富有夫
4　漢詩「漁村曙　恭賦」雪堂小松稲雄
〃　「新日本文学の構築」藤田徳太郎
〃　「祖先への道」瀬川重礼　7日　3回完
〃　「現代リアリズムの崩壊」亀井勝一郎　6日　2回完
〃　「山の一夜」米長清一郎　7日　3回完
〃　「古都を訪ねて」新井格　6日　2回完
〃　「映画評・西住戦車長伝」むらてつじ
5　「新体制と漢詩」片口安太郎
7　短歌「漁村の曙」明翫外次郎
〃　「宗良親子と石黒氏」三輪国治　10日　4回完
〃　「漁村の曙に就て」与林秀夫
〃　「演劇法をめぐりて」中山楠雄　9日　3回完
9　「安倍先生祝賀会の記」犬丸秀穂　11日　3回完
10　「文化の意義」上司小剣
〃　短歌「日本讃歌」中河幹子
〃　文芸家の隣組！富山市弥生町に生る（記事）
11　「詩人の覚悟」高島高　12日完
〃　「映画評『幸福な家族』」むらてつぢ
12　童話「床の間の日本刀」水谷まさる
〃　「翼賛運動と日蓮主義」加藤義勝　15日　3回完
15　「吾が国民性」塚原真月　16日完
17　「古城公園・桝形池大蛇伝説」丸本喜一
18　「お正月と賀状」新村健
19　「児童とともに学ぶ『吉田松陰先生』」諏訪青山
〃　俳句「寒燈清香」槙野召果
〃　「七尾月草会句会抄」
〃　童話「巳年の小話と伝説」飯原丈五郎
20　「文化と国防」室伏高信
21　「女について考へる」金子しげり
〃　「郷土独特の家号」野沢潤
22　「女性のなげき」方等みゆき　23日完
〃　「高岡石鳥句会」
23　「偉人の面影」大石直江　24日完
〃　「感情の純化―現代俳句への考察」竹部侶岫　25日　3回完
24　「流行文学の検討」鳥取稔　28日　4回完
26　童話「助け合ひ」村岡花子
28　宮中歌御会始め（記事）
29　「お爺さんお婆さん」宮本百合子
〃　「地方文化の問題」橘直治
30　「明るい素人文学」黒水仙
〃　「霧・嶺・花・頌歌―日本アルプスと和歌」武田吉三郎　2月2日　4回完
2
1　「洗心養気」舟川栄次郎　4日　3回完
2　童話「絲瓜の水」小川未明
5　俳句「口礼」小松砂丘
〃　「反省の鞭」若山喜志子
〃　「西念寺に詣づ」島尾正一
〃　「冬柏随想」関理一　6日完

7　「『運・不運』に寄す―作者池田源尚のこと」八木喜一　7日完
9　「農村演劇に就いて」栄多谷三良　13日　3回完
11　短篇「伐採場から」宮田三千秋　21日　8回完
13　「加賀方言の短歌―芥川龍之介氏のこと」うたのかみ　14日完
14　出版文化協会　全国業者を会員に活動開始（記事）
15　「歌に生くる心」本田尹吉　18日　3回完
20　「半可通」岡田慎子
21　「敗戦を語る文学者」古谷綱武　23日　2回完
〃　「きさらぎ芸談―浄瑠璃を中心に」大坪晶一　23日　2回完
23　童話「消えた荘介石」滝本友治
25　「新葉集の雑考『ありそ海の』御歌の検討」三輪国治　3月1日　3回完
27　「文学精神に就て」野口冨士男　28日完
3
1　「四十五歳の新人」（☆桜田常久の芥川賞）薔薇人
2　「白翠氏の姿」竹部侶岫　4日　2回完
3　「車中微苦笑記」十和田操
5　短篇「白き道」小山内ふみ　20日　9回完
11　次の連載小説作者・貴司山治の辞（☆記事とも）
13　「亜細亜は明ける」貴司山治　6月28日　107回完
19　「課題と回想（白翠への手紙）」関沢源治　23日　4回完
22　「水上滝太郎第三回配本を読んで」市原綾子
24　「映画雑記・時代精神の消化」楢崎勤
25　「映画雑記・戸田家の兄妹」楢崎勤
〃　「総持寺と禅恵の考」三輪国治　29日　3回完
26　「白翠号に寄す」市江雨帆
〃　詩「浅春譜」福田淳了

27　「国内文化の支流」打木村治
〃　詩「糞尿車」福田淳了
〃　「早春哀歌」山村幸一　29日　2回完
28　「日本語の発音」平岸完一　4月1日完
30　「金魚を放つ」尾形鐸
4
5　「政治の理想と現実」岡良一　4月7日　2回完
8　「新劇の前述」黒白仙
9　金沢文学会、活潑に文化運動へ（☆記事）
11　「芸術院の動き」柳亮　15日　4回完
17　「続日本語の発音」平岸完一　23日　4回完
5
2　「林政武氏著『緑地帯』を読む」葛西慶太郎
3　「国語国字整理、統一の国策にそふ」稲垣伊之助
4　「剣」舟川栄次郎　6日　2回完
10　「出版界の断層を観る」植原路郎　12日　2回完
13　金沢文学会の平賀源内研究会（☆記事）
14　「〃緑地帯〃」大石直江
16　「文章の妙味『緑地帯』を読んで」高島米峰
17　「旅を思ふ」田部重治　31日　5回完
19　「魅力の筆」奥野他見男　23日　4回完
20　「『蓮如忌』の習俗」長岡博男　24日　5回完
21　金沢文学会・芥川賞作品研究（☆記事）
24　「軽妙〃緑地帯〃読後感」若松一美　26日　2回完
27　力作「村長日記」の新鋭作家・岩倉氏郷里の高瀬村に帰着（☆記事）
28　「緑地帯の再読」うたのかみ
6
5　「親切な気持ち」宮本百合子　9日　2回完
6　「歴史と地理」保田与重郎　9日　3回完
10　「成長した前進座」佐藤吉次　20日　3回完

11　「結婚前の娘」真杉静枝
14　次の夕刊小説「楠木正成」楠田敏郎・作者の言葉（☆記事）
16　「海南の疾風」大林清　461回完
17　「科学論争の教示」青野季吉
〃　「楠木正成」楠田敏郎　17年10月24日　402回完
20　「〃緑地帯〃を読んで」春藤俊平　25日　4回完
27　次の愛国小説「七つの海」鶴見祐輔・作者の言葉（☆記事）
〃　「音楽を聴かせたい」若山喜志子
29　「七つの海」鶴見祐輔　17年2月8日　221回完
30　「独ソ開戦の東亜」尾崎秀実
7 4　「芳醇の味ひ〃緑地帯〃を読んで」梅崎卯之助
11　「国民性と科学的熱情」青野季吉
17　尾山篤二郎・来沢（☆記事）
18　「映画評『虞美人草』」むら・てつじ
20　「松竹家庭劇の事など」佐藤吉次　23日　3回完
23　「万葉に生きて」嶋尾正一　25日　3回完
26　「新音声言語」野村豊繁　30日　4回完
27　童話「鈴木さんと『みさゝ姫』」水谷まさる　8月17日　4回完
28　「東亜外交の新段階」尾崎秀実
8 5　「弘法筆を択ぶ」上原定清　6日完
〃　「夏日随草」南田耕朔　6日完
6　「恒性皇子御事蹟考」三輪国治　10日　5回完
〃　「学者の二類型」前田正人　8日　3回完
7　「万葉史話」与林秀夫　8日完
12　「万葉随草」角川源義　13日完
14　「労作の意味」宮本百合子
17　「祖国と家庭の問題」青野季吉
19　筆陣で海へ前進、作家連で「黒鉄会」結成（☆記事）
21　「俊頼の歌一二」高安周吉　23日　3回完
24　童話「せみ時雨」みね、あきを
27　「俳句と俳論」竹部侶岫　29日　3回完
28　「国語問題篇を読む」平岡伴一　29日完
9 1　「国際情勢と危機自覚」尾崎秀実
7　童話「木魚」みね・あきを
9　「方言研究といふこと」馬瀬晋　10日完
〃　「井上翁を語る」広瀬喜太郎　12日　3回完
11　「文化とは何ぞや」青野季吉
12　「召果君を悼む」（☆俳句7句）上方蟾麿
〃　「時局と立正精神」加藤義勝　16日　4回完
13　「俳句精神」小松砂丘
20　「茶と芸術」光明寺孫太郎
21　童話「お月様のお話」寺崎早苗　23日　3回完
〃　詩「稲刈」つちだ・みのる
23　童話の白嶺社、真摯な歩み（☆記事）
26　「北国歌壇、選者の言葉」楠田敏郎
29　「国民の勘と社会戦の段階」尾崎秀実
10 1　「ゆたかに高かれ地方文化」中村武羅夫
〃　「歌謡の発生と作家精神」藤平利如
4　「長沙をしのぶ」姫野誠二
7　「言語と民族性」前田正人
11 5　「茸の方言」織田喜水
8　「聴泉遺作展、文協俳画展評」山秋居　9日完
11　「言葉・言葉」井上幸夫　12日完
12　「寒露白蔭」（☆俳句18句）大坪銀蛙
15　「月夜に想ふ」中山とめ子

〃　「国民娯楽と義理人情」青野季吉
16　「郷土わらべ歌」木谷与作
19　「常楽院日経の私考」三輪国治　23日　5回完
23　童話「トピイのお友達」（無署名）
29　「高道夕咲人氏の続走馬燈出版記念記」井沢芹風
12/17　「竹札讃」姫野誠二　19日　3回完
19　「感激」（☆短歌15首）小林守直

昭和十七年

1/1　「時局を詠む」楠田敏郎選
〃　「俳句」小松砂兵選
6　「新春賦」（☆短歌7首）桜井厳道
〃　「北国俳壇」小松砂丘選
〃　「万葉集に現はれた馬―越中と家持と馬と」和田徳一
9　「馬百説」山下豊三
〃　「馬隨筆」水木与作
〃　「僕と馬」磯幸次郎
10　「馬に学ばむ」大塚親
〃　「馬隨筆」高安周吉
11　「馬に聴きたい」菊盛安
22　「北国俳壇」西尾舷栄子選
27　「北国俳壇・美川錨吟社抄」
28　「北陸人は読む―金沢は一人卅六銭の図書購入費」（☆記事）
30　「北国俳壇」小松砂丘選
2/2　「東条声明の批判」清沢冽
7　「次の小説『第二の感激』戸川貞雄・作者の言葉」
9　「総選挙と翼賛会」ろう山政道
〃　「第二の感激」戸川貞雄　8月9日　178回完
〃　「大東亜戦争いろは歌留多」
14　「北国俳壇」山本素律選
〃　「おしゃべり薬」三橋監物
15　「高き想念の中に―開かれた北陸文化協議会」
18　「慰問文学の提唱」野島茂義　19日完
3/3　「季花集所見の越中の歌」三輪国治　7日　3回完
4　「浅春抄」大坪銀蛙
5　「科学の地獄だ」石川達三
13　城端文化協会結成（☆記事）
4/5　「越中の桜」進野久五郎
8　「桜と薬」山下豊三
12　「桜の絵」松元三郎
16　「春雪の立山に鍛ふ」村杉正一郎　19日　3回完
20　「大陸の花嫁」坂井菊雄
29　「野草の科学」中沖太七郎　5月2日　3回完
5/4　「満鮮視察」高田源清
11　「新体制の創造」室伏高信
20　「越中と山椒魚」植木忠夫　23日　3回完
6/9　「北国俳壇」山本素律選
15　「翼賛体制の完備」空伏高信
24　「活躍する作家部隊」（☆レポート記事）
28　「小泉八雲について」田中武彦　7月4日　7回完
29　「南方の教育問題」山田文雄
12　「五箇山の伝説と史考」三輪国治　22日完
19　「文化新体制と地方文化運動」高橋健二
8/10　「山河一望」片岡鉄兵　11月29日　111回完
〃　「世界観の問題」室伏高信

10 3「銭五生誕百七十年記念・北国俳句大会十月二十五日」
10「女性と書道」生田花世
19「文化の高揚」
22「文化の方向」蒲生欣一郎
〃「次の時代小説・造弊局・土師清二・作者の言葉」
25「造弊局」土師清二　18年7月6日　199回完
11 7「白秋を憶ふ」長田恒雄　11日　2回完
30「勝鬨」長谷川幸延　18年6月21日　200回完
12 2 戦時生活に重点・高橋健二氏七尾で語る（☆記事）
5「八日の史的考察」志田延義
8「銃後文化の躍進」新居格　11日　2回完
13「ジャワ敵前上陸の日」浅野晃
15「理想の妻とは」生田花世
18「理想の夫とは」生田花世

昭和十八年

1 1「新年文芸」（短歌、俳句）
4「万葉集に見る歳旦」和田徳一　5日完
8「高岡文協の運動について」八木喜一　10日　2回完
11 小説も力作揃ひに―雑誌の減頁で文報が檄飛ばす―（☆記事）
2 13「決戦第二春小言」桜井忠温
26「市町村の行事」暁烏敏
27「日本よ勝て」生田花世
28「戦争、文芸、新聞」鴨居悠
3 7「短歌随感」岡上梁
11「短歌の持てる日本民族性」与林秀夫　13日　3回完
18「伝唱童謡考」高道夕咲人　19日完
21「地方文化の問題」蒲生欣一郎
22「現代俳人の使命」木勢青嵐　26日　2回完
30「草上同人の撃ちてし止まむ句を評す」市江雨帆
31「立山と川田順先生」小又幸井　4月3日　3回完
4 1「新しい女学生」生田花世
4「戦記文学に就て」北野一郎
6「浅春（6句）」中塚一碧楼
12「日本とビルマ」高見順
22「さらがみ抄」杜山清一
5 1 詩「天長節観兵式陪観に浴して」森三千代
11「八乙女山を繞る伝説」安田庄次郎
12 白椿出版記念（☆記事、高岡、新詩社の系統）
22「嘘の防空服装」生田花世
6 8 川田順氏の歌碑、大川寺公園に建てる（☆記事）
16「女流作家が観た南方女性」　20日　5回完
22「丁山丸暗礁」海野十三　8月23日　63回完
27 軍人援護詩歌俳句・日本文学報告会提供（☆前田夕暮、土岐善麿、吉井勇、大木淳夫）　29日　2回完
7 4「無医郷の記」岡良一　6日　3回完
〃「転域」戸水又徳
7「華麗島」長谷川伸　12月6日　129回完
11「出版文化の新体制」河合清吾
18 共栄圏へ「大東亜文学選集」日本文化と生活の姿載せて刊行（☆記事）
20「愉安」円地文子
21「三宅花圃女史」葉椰子

8
26　「俳句の世界」大沼沢樓
6　「戦争と美術」肥後和男
10　「越中と家持」藤平利恕　11日完
15　「決戦生活と俳句」富安風生　22日　2回完
18　「戦争と俳句」木勢青嵐　20日　3回完
24　「暖流爐」竹田敏彦　19年1月1日　128回完

9
3　詩「国府―ある冬の日に」富樫行人
4　「女性の成熟」板垣直子
5　「国民詩の問題」相川龍春
26　「曽良の旅日記」桂井未翁
〃　詩「大空へ」相川龍春

10
13　「いのり」（☆短歌7首）木俣修
19　「越中の文化」佐賀野大守　20日完
24　「溢れる戦争文学書」長田孝三
28　「芭蕉翁と北陸道」木勢青嵐　11月3日　5回完

11
3　「文学の進歩性」村田千秋
7　「批評について」相川龍春
14　「軍人援護と短歌」鹿児島寿蔵
21　「力としての文化」秋山英夫
27　「俳画展を観て」中田天泉
〃　「猿倉城址に立ち」佐藤種治
28　「父〝秋声〟のこと」徳田一穂
〃　「秋声先生を偲ぶ」室生犀星
29　「先生の最後」舟橋聖一
〃　「秋声文学の精神」楢崎勤　30日完

12
7　「留魂記」大坪草二郎　19年5月6日　127回完
8　「大東亜建設と日本語」平田一郎
11　「明るい将来」生田花世
12　童話「空の兄さん」久保喬
18　井上日石氏観迎俳句会抄

昭和十九年

1
1　「新年文芸入選作（短歌、俳句）」
2　「朝夕」丹羽文雄　2月11日　40回完
9　「大神宮参拝」（☆短歌8首）暁烏敏
14　詩「ラバウルを護れ」暁烏敏
30　「歌と農村文化」芦田定蔵

2
13　「『時』の窓」舟橋聖一　3月5日　22回中断
24　「地方婦人と教養」板垣直子

3
4　「花笠翁を偲ぶ」松田一露　☆　この日まで夕刊発行
10　「戦争と短歌」与林秀夫　14日　3回完
17　「日本のこゝろ」梶井重雄
21　「古美術の疎開」野間清六　22日完
22　「山口花笠翁を悼む」篠原句瑠璃　25日　2回完
24　「日本的な美」川口久雄　29日　2回完

4
8　「芸能文化における快と美」赤松義麿

5
7　「うなばら」富沢有為男　8月16日　69回完

6
2　「千代尼も亦戦へり」中本恕堂
24　「北の海」桂井未翁
27　詩「驕敵サイパン上陸」土井晩翠

7
1　「母の喪中によめる」（☆短歌12首）江戸さい子
16　「読書と食生活」中田邦造
19　「憤怒の火」浅野晃
20　詩「千手観音」宮崎孝政
30　「政変」（☆短歌9首）暁烏敏

8 18「皇国の急に赴く芸術」蒲生欣一郎　20日　3回完
19「次の新小説・遠征家郷を思ふ・作者（尾崎士郎）の言葉」
〃「作句余滴」木勢青嵐
20「大宮島の今昔」三宅雪嶺
23「遠征家郷を思ふ」尾崎士郎
9 2「母子抄」水芦光子　6日　2回完
10 14「ヒットラーとビスマルク」三宅雪嶺
16「俳句悲願」中西舗土　25日　2回完
25「天翔ける神々」北村小松
〃「立山（3首）」吉井勇
12 3「初鰤（5句）」前田普羅
（☆この年も「北国俳壇」「北国短歌」欄あり）

昭和二十年（8月まで）

1 1「上杉謙信」鷲尾雨工（☆高光一也画）
〃「新年文芸」（☆短歌、俳句）
11「悼桂井未翁氏長逝」（☆9句）
20「北国短歌」江戸さい子選
22「蘆城俳壇一月抄」
2 1「北国短歌」藻谷銀河選
17「歌道報国会歌会抄」（☆江戸さい子等）
4 7「小松月尚氏追悼会」（☆11句）
5 11「嗚呼ヒットラー」（☆5首）暁烏敏
6 1「戦ひ以外何の外交ぞ」徳富蘇峰
9〃西田哲学〃の博士逝く（☆記事）
21「嶺、西田博士」小島武味　22日完
8 21「新日本の帰道」村岡花子
〃「戦争終結に際して（5首）」江戸さい子
（この項おわり）

附記・本稿は「昭和六十一年度特定研究・金沢地誌の総合的研究」による研究成果の一部である。

（昭和六十二年九月十一日）